



「死にたい!!」「生きたい!!」と生と死の葛藤かつとうの中で長い苦悶くもんは終わった。雪の多いこの地方の長い冬も終わろうとする三月一一日、母は小さな骨壺に納まつた。あざみの花の面影おもかげのこを遺して。